

あきた労福協

2022年7月1日

NO. 146

発行所／秋田県労働福祉協議会
 発行責任者 高橋暢嘉
 秋田市中通6丁目7-36 フォーラムアキタ内
 Tel 018-833-1875 · Fax 018-833-0506
 ホームページ <http://akita.rofuku.net/>

第34回チャリティゴルフ大会

9月12日(月)開催予定

新型コロナウイルスの感染拡大のため、2年連続でチャリティゴルフ大会は中止となっていました。今年度は秋田椿台カントリークラブにて、感染対策を講じ開催する予定です。このゴルフ大会は、参加者の皆様や協賛団体の皆様のご協力により震災復興支援やNPO・福祉団体等へ寄付

をする目的で開催しています。

皆様の参加をお待ちしております



「カップ麺1個」寄贈運動！

「カップ麺1個(袋麺でも可)」

ご協力お願いします！

「第34回チャリティゴルフ大会」でも

「フードドライブ活動」に取り組みます。



昨年度寄付金贈呈先 9団体

- ・秋田県社会福祉協議会
- ・秋田県身体障害者スキー協会
- ・あしなが育英会
- ・秋田いなほ福祉会
- ・やすらぎの家
- ・くだかけ寮
- ・自立支援センターほのぼの
- ・子育て応援Seed
- ・ライフサポートセンターあきた

※昨年度は新型コロナウイルス感染警戒レベル引き上げに伴い、やむなく中止しました。すでに頂いていた協賛広告を寄付金に変えさせて頂き贈呈しました。



2022年度 全国研究集会 in 静岡



全国研究集会が6月2日(木)グランシップ【静岡コンベンションアーツセンター】においてハイブリッド形式で開催された。

2年ぶりの開催となった今回は「労福協の2030年ビジョン」そしてSDGs(持続可能な開発目標)がめざす社会を実現するために、新しい視点を取り入れ、みんなで取り組みを広げていく必要がある。

「地域づくりと若者たち」をキーに、
 ポストコロナ社会を見据えた新しい
 繋がりの形として、世代を超える社会
 の担い手として一緒にできることな
 どについてディスカッションされた。



ライフサポートセンターあきた Q&A 「叔父の遺産相続について」

Q 20年来付き合いのなかった叔父が亡くなり、司法書士名で「残された遺産を兄弟で平等に分配するように」との書面が届いた。叔父は生涯独身を通し、20年前両親が亡くなるまでは相談者の母親が面倒を看ていた。その後は母方の叔母が面倒を看てきて、この間の往来は無かった。残された金額を平等なら理解できるが、預金が凍結されていて諸経費を差し引いた分を分配すると言うので、それでは平等にならないのではないかと納得いかない。

また、何か形見になるものが欲しいのだがどう切り出したら良いだろうか？

A 遺産分割について、預金口座が凍結されていることもあります葬儀費用・施設退去費用等々の持ち出しがあったのではないかと思う。その分の経費代と世話をしてくれた事への感謝代を加味した分を叔母さんに受け取ってもらい、残額を分配すれば叔母さんも納得していただけるのではないかと話しをした。また、形見については、施設を退去するときにほとんどを処分したと考えられるので、叔母さんに何か物が残されていないかを尋ね、受け取ることができるように進めたら良いのではないか。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
ろうきんは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

AMBASSADOR
ROKIN
AMBASSADOR
高梨臨
あやなみ

誰ひとり取り残さない
金融サービスを、
これからもずっと。

あなたに、
おはなに、
いちばんそばに。

0120-1919-62
(受付時間: 平日 午前9時~午後5時)
<https://www.tohoku-rokin.or.jp>

各種お手続きなら
マイページ がオススメ！

こくみん NEWS
0522Z006

ご自宅から
24時間
365日

いつでも各種手続きOK！

- 住所・電話番号・口座変更
- こくみん共済加入手続き
- 契約内容確認
- など

ご利用手続きは2分で簡単！／

こくみん マイページ 検索

お問い合わせ先

こくみん共済 秋田推進本部
(秋田県労働者共済生活協同組合)
COOP TEL 018-824-6031

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員になることで各種共済制度をご利用いただけます。

編集後記 7月の祝日『海の日』はもともと7月20日が「海の記念日」でしたが、ハッピーマンデー制度により7月の第三月曜日に設定されました。海の日というのは「海の恩恵に感謝するとともに海洋国である日本の繁栄を願う」ということが趣旨とされています。それに伴いコロナ前の7月は『海の日月間』とされ全国でイベントや催し物が多く開催されていました。今年は様々なイベントが再開される予定です。感染対策はしっかりとしつつ存分に楽しみたいですね。 (G.N)

